

科目名 Course Name	科学史Ⅱ science history Ⅱ			ナンバリング No.	A2-024		
年次	1年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	小林 大輔						
連絡方法	C-Learning で対応、または講義棟1F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2, DP4, DP5						
授業の概要と 到達目標	科学と歴史、社会背景との関わりに着いて学び、 ・古代、中世、近代の科学の発展と社会背景を説明できるようにする、 ・科学の発展の歴史から、日本を含めた世界の科学の趨勢について、自分の意見を述べられるようにする。						
授業の方法	配布資料とスライドで授業を進める。各回ごとのテーマに沿った400文字程度のレポート課題を課す。レポートへのフィードバックで前回の復習をしてから新しい単元へと進む。						
学習成果	L01						
	L02	西洋の歴史と科学の関係について自身の考えを具体的に説明することができる。					
	L03						
	L04	世界情勢と科学の関わりについて自身の考えを述べるることができる。					
課題に対する フィードバック	レポートに対するフィードバックを、毎回授業内で行う。						
教科書/ 参考図書	参考図書: 古川安「科学の社会史」ちくま学芸文庫。						
履修上の留意点 やルール等	毎週の事前・事後学修に必要な時間は180分である。授業回数の2/3以上の出席によって試験の受験資格が得られる。						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度					
レポート/作品	レポート課題の提出率と完成度で採点する。		30		
発表					
小テスト					
試験	満点の条件は「設問に対して正確かつ十分に解答されていること」である。				70
その他					
合 計			30		70

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス 社会における科学
	事前・事後学習	文明開花の時代、日本社会の変化について調べる
2	授業内容	二つのルネサンスから近代科学へ
	事前・事後学習	中世から近代にかけてのにはん、西洋の出来事について調べる
3	授業内容	キリスト教文化における近代科学
	事前・事後学習	キリスト教のせかいかん、うちゅうかんと科学の関わりに着いて調べる
4	授業内容	大学と学会
	事前・事後学習	西洋と日本の「大学」の歴史について調べる
5	授業内容	自然探究と技術
	事前・事後学習	「科学」と「技術」の違いを調べる
6	授業内容	啓蒙主義と科学
	事前・事後学習	啓蒙主義について調べる
7	授業内容	フランス革命と科学の制度化
	事前・事後学習	18世紀、欧米の時代背景について調べる
8	授業内容	ドイツ科学の勃興とその制度的基盤
	事前・事後学習	19世紀のドイツについて調べる
9	授業内容	科学の専門分化と職業化1
	事前・事後学習	近代に成立した新しい科学分野と、関連する職業について調べる
10	授業内容	科学の専門分化と職業化2
	事前・事後学習	近代に成立した新しい科学分野と、関連する職業について調べる
11	授業内容	産業革命とイギリス科学
	事前・事後学習	産業革命の時代の日本の状況について調べる
12	授業内容	アメリカ産業社会における科学
	事前・事後学習	アメリカ産業の特徴について調べる
13	授業内容	科学とナショナリズム
	事前・事後学習	日本学術会議について調べる
14	授業内容	戦争と科学
	事前・事後学習	戦争における科学の功罪について調べる
15	授業内容	科学・技術批判の時代
	事前・事後学習	科学技術の最新のトピックについて調べる